磐城毎日

社長 大和田與兵衛
發行所 福島縣平市15丁目12番地
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人 遠藤孝倫
電話（平）二一〇番
定價1ヶ月50円 1部2円
【夕刊・月曜休刊】

投稿歡迎

地方選擧

資格審査 提出は廿六日まで

告示は四月三日の豫定

平市に於ける來る四月の各種地方選擧の立候補者に對する資格調査表の受附けは來る十七日から二十六日までの十日間で調査表の用紙並に確認書寫の用紙は市役所庶務課に準備されてあり希望者に交付しているが二十六日の提出期限後は絶對に受付ないので立候者は必ず期間内に提出される様希望している、尚資格調査の結果の確認證は四月二日までに送附される豫定で選擧の告示は四月三日の豫定である、十三日正午現在迄に資格調査表若しくは確認書寫の交付を受けた諸氏は次の通りである

△資格調査表
諸橋久太郎、大嶺秀吉、野崎喜八郎、野澤武藏、坂本昌藏、瀧川保夫、須藤鶴之助、多田井笑次郎、大和田與兵衛、町田龜治、鈴木庫左右、大泉信雄、阿部長兵衛、安瀬寅次郎、鈴木寅次郎、山野邊正善

△確認書寫用紙
馬目武之助、金古政通、國井一美、鈴木新平、片寄保、柏原秀藏、眞木恒盛演瑛

平局管内郵便友の會

結成終り愈々發足す

平郵便局では昨年末から結成準備中であつた郵便友の會も市内各小中高校生五三名の會員をもつて結成されることになり去る七日各學校長、平郵便局長、會員代表その他の關係者が參集驛前金田旅館で結成式を擧行し愈々發足したが郵便友の會の目的は次代を荷う青少年が文通により國内は素より世界各國の未知の友達と手をつなぎ相互に知識意見を交換し合つて人格教養を高めると同時にお互に理解し合い心と心の結びつきによつて平和の實現によりよき結果をもたらそうとするもので昨年六月名古屋郵便友の會の誕生を最初として急激に發展し現在全國の結成數は三四〇、參加校二〇〇〇、會員二五萬人となつて活潑な動きを續けている

磐高の女子受驗者

五名何れも成績抜群でパス

五十五年の傳統を破つて女子の入學願書を受付けた磐城高等學校は女子定員二十名に對して受驗者僅かに五名であつたが十日男子と共に一齊に受驗し其の結果を注目されていたが自信滿々受驗を希望しただけに何れも粒選りの優秀で男子に劣らぬ抜群の成績で一人の落伍者もなく見事晴の榮冠をかち得た、合格者氏名及出身中學校は左の通りである

カツコ内は出身中
△田卷啓子（平一中）△中村慶子（平一中）△高柳喜代子（平一中）△伊藤千代子（好間中）△土井美津子（平一中）

看護婦の國家試驗

受驗申込みは二十日まで

平保健所では來る五月十二、十三日の兩日福島女子高校で行われる第二回甲種看護婦國家試驗の手續きを發表した願書受付期間は三月一日から二十日まで受検資格は厚生省指定甲種看護學校三年卒業者、舊看護婦免許證所持者、志願書（厚生省指定のもの）履歴書、身分證明書に寫眞及手數料三百五拾圓（收入印紙）等を添へ直接東京都千代田區霞ヶ關二一二番地厚生省醫務局看護婦國家試驗係に申込む事尚ほ詳細は平保健所に問い合せられたいと

平市 石城 婦人會長の合同會

十四日湯本中學校で開く

來る十四日午前十時より湯本中學校に於て石城郡内各町村及平市の婦人會長の合同會議を開催、本年度に於ける行事の反省並に來年度の計畫について協議する事となつた

平保健所の新廳舎 十四日起工式を擧行

平保健所の新廳舎の起工式は十四日午前十時から市役所南側の堂根町地内において行ふ

濱三郡農濟組合 職員の採用試驗

濱三郡農業共濟組合職員の採用試驗は來る十五、十六日の兩日双葉地方事務所で行うが技術員と事務員とに區分し口頭試問は双葉地方事務所會議室で行い、筆記試驗は富岡中學校でそれぞれ行はれる

共立病院議員會 明年度豫算審議

石城共立病院組合會議會は來る二十六日午前十時から地方事務所會議室で開き新年度豫算を審議する

地方事務所で

農業改革普及協議

石城地方事務所では十六日同事務所會議室において農業改革に關する普及事業について各町村關係者を招き協議會を行ふ

刑務所を出た男

小名濱で自轉車盗む

茨城縣多賀郡關本村關南仁井田魚行商根本一（三五）は去る七日午後十一時小名濱漁市場地内小名濱町北新川五六鮮魚商二瓶新助（三八）さん所有の中古運搬用自轉車八千圓相當を盗み勿來町の某商店え賣込の途中勿來町署員に捕つた、根本は窃盗で去る五日平刑務所を出所したばかりでまだ自宅え歸つて居なかつた

澤渡の小學校分校

十三日全燒損害約七十萬圓

十三日午前六時半頃澤渡三阪組合村澤渡小學校新田分校責任者小野キミ教官の居宅から出火、同居宅と棟續きの校舎三教室六十六坪を全燒した、損害七十萬圓原因はカマドの火からしい同小學校は小野キミ教官外二名兒童數七十六名である附近に寺院神社等は何もなく兒童の收容については善後策を考慮中

トラックと三輪車 衝突し運轉手負傷

十二日午後六時頃市内公會堂通り眞木醫院前街路上で磐城貨物自動車運轉手高橋德二（二九）は湯本町坂板文房具商店の自家用オート三輪車運轉手馬場好美（二六）と衝突、馬場は全治三週間の打撲傷オート三輪車のハンドルを中破した、馬場は眞木醫院に入院加療中である

店から時計盗る

平市二丁目食品店鈴木毅さんは十一日午後十時から十二日午前十一時までに店舗内から時計秤一個千圓相當を盗まれた

古河礦の倉庫屋根吹き飛ぶ

十二日午後十時頃突風のため古河好間炭礦の粉炭貯炭倉庫の屋根十五坪程吹きとばされたこの倉庫はバラック建で一時しのぎの降雨を防止するためのもので損害は別になかつた

好間の物置半燒

十二日午後五時半頃好間村北好間堂田中島朝吉（三八）さん方の物置より出火同物置四坪半を半燒大事に至らず消しとめた原因は殘り火の不始末から

展望

平市政革新會では昨報の通り去る十日總會を開催し市長候補として諸橋久太郎氏、市部選出縣議候補として野崎滿藏氏を推す事に決定したが諸橋氏は貴族院議員の經歴を有し地方切つての財閥でもありけだし適任であらう、併し肩書や門閥だけでは現在の平市政の運營を完全に遂行し得るものとは信じられない、一方鈴木現市長の再起も確定したので諸橋氏が革新會の推薦を受諾すれば鈴木、諸橋兩氏の一騎打ちとなる譯けであるが鈴木現市長は人も知る千軍萬馬を往來し荒波を乘り越えた政界の古武士であり反對せんがための反對を唱える一部の市民を除く外は過去四ヶ年間の平市政に對する業跡の偉大さは公正な一般市民の齊しく認める處であらう、平市は戰災都市として或は濱三郡の中心都市として未だ殘された幾多の成すべき事業があり鈴木現市長の政治力に俟たなければならないものが山積している事を市民は深く銘記すべきであらう（山の邊生）

十三日晩は北よりの風弱く良い天氣ですが冷え込が強いでせう

十四日北よりの風日中は南よりの風となり良い天氣ですがときどき雲もありませう

第2回 平競輪 開催迫る

3月 17 18 20 21

十時半發賣開始 小雨決行

主催 平市

午前宅診 午後往診

内科 外科 小野醫院

院長 小野 離

石城郡江名町北町一〇四 電話二〇七番

13日～堂々二立本

豊田四郎が監督する傑作！ 若木の如く伸びて行く花のように咲きつゞける私達のえり子!!

藤本プロ えり子と共に

主演 角梨枝子 山村聰 大日方傳 宇佐美淳 堀雄二

英國映畫 四重奏

平文化

たつた10日間で100万圓

お待兼ね

第3回短期寳くじ

奬金 100万円・30万円 10万円1万円 他

抽せん 3月16日

1枚30円で賣出中 どうぞお早く

日本勧業銀行 平支店

小野榮呉服店

小野榮一

平市四丁目 電話五一五番

平市議候補を訪ねて

竹を割つた性格

大塚駒太郎氏

市民の耳に大塚駒太郎氏の名前をきく事は久しい、平市防犯協會副會長、檢察廳平支部審査員、商工會議所議員等肩書は嚴しいが綠屋肉店の主人として愛僑に滿ちた氏の笑顔を見ることは珍らしい事ではない、氏の市民との交際は大正八年に溯る爾來三十年餘「良心に勝る商賣なし」をモットーとして市民の榮養源の肉店に全力を盡し正直一徹唯眞心をこめて勵んで來た、新裝全く成つた一丁目の目拔き通り綠屋の店頭に客足の絶えないのも意味なしとしない、市民の榮養源の食肉販賣に力を致した氏が、竹を割つた樣な明快な氣性と凡ゆる事柄を善意に解する暖さと不正を排する道義心で市民のお腹の榮養ならぬ市政えの榮養を注ぎ込んで來たが更らに榮養價を高める爲め目下虎視眈々たるものがある氏はＰＴＡに對する深い關心勞働問題に寄せる透徹せる識見土木事業等に處する該博な抱負然かも市民えの溫い理解加ふるに竹をわつた樣な卒直さ!!何時何處で習得したのであらうかと唯眼を見はるばかりである、「唯約束は必ず履行することが最も大切でしよう、抱負などとは別に「一と語らぬ氏の謙虛さが何よりも氏の眞面目を表して餘す所がない、今年とつて五十六才の働き盛り、最も得難い人物の一人ではなからうか!!今正に寒明けむか市議三十の椅子を目指して前哨戰漸くたけなはならんとする、選擧戰術道を廉直の人大塚駒太郎氏は行く、正義そして誠意の旗をかざして進む大塚氏は春雨のけぶる眞只中に一輪の梅を求めつゝ

小名濱版

沸く小名濱町議會

二案件の審議で揉む

小名濱町では九日午前九時より町會を開き議案第一號第二小校講堂建築に關する件と、協議案第一號舊日立工場敷地買收に關する件を附議した、議案第一號は二十五年當初豫算に於て百七十萬圓の公民館の建設費を議會に提案したが、公民館より第二小講堂が急を要する事として公民館建設費を削除し次回町會議に於て二百四十萬圓の豫算案を提出し議會はこれを承認して置いたが、平衡交附金の見透ふしがつかないので遂に着工の運びに至らなかつたが最近漸く交附金の見透ふしもついたので六十萬圓の更正に依り建築費の增額をせんとする案であるが、第四區選出の議員は附屬建物三十五萬圓迄も此際一撥に建築せよと町當局に迫り問題となり、町當局は六十萬圓の增額は豫算化するが三十五萬圓は明年度でないと豫算化は難しいと突き放したので議場は喧囂を極め甲論乙駁、殆と收拾のつかない迄に沸騰したが結論として本案は六十萬圓增額に依つて三百萬圓の建築費を決議する事が、本町會の目的であり、そうすべきものであると云ふ正論も飛び出し遂に三百萬圓で建築する事に決議されたので第二小講堂は直ちに着工の運びとなる事となつたが更に揉んだのは請負入札の方法である從來町條例に依ると幾人かの指名請負者を指名して其內からの入札に依つて落札者を決めたものであるが町建築物件は却々甘く行かない、これは請負者の財力問題が支配するもので物價の値上りに依つて遂に工事の進涉を妨げ期限の遲延を見るに至つた例が度々であるので、請負者の財力を嚴重審査をする事が必要だと云ふ鐵則を設け其詮衡は經濟委員會に一任すると云ふ事となつた、協議案に就ては日立舊工場敷地の二萬三千坪を買收する案であるが、過般上京他の運動の際日立製作所本社に寄り交渉した結果、常務取締役湯淺氏と接衝したが町側の坪二百圓に對して二百三十圓よりどうにも成らないと云ふ事を報告すると、足元を見られての高値だ、坪當二百圓以下で買收し得るものであると主張するに至つたのでこれ又論議の沸騰を見た、坪當二百圓以下を主張する議員は、井中の蛙大海を知らないもので、小名濱町たけを知つて、大都中央の事情を知らない代物であるとの議論もあり更に交渉を重ぬる事としてケリがついたが是れが爲め午後二時迄晝食拔きで論爭した

小名濱高校入學生

福島縣立小名濱高等學校

昭和二十六年度入學許可者一覽

小名濱町縣立高等學校では去る十日縣立校一齊に入學試驗の考査を行つたが本校入學希望者は全日制男子四十九名、女子百十二名であつて內百五十名の定員であるから十三名を振り落し、百四十八名を許可し定時制では四十名の希望に對し五十名の定員でそれに達しない、商業課、被服課、別科など何れも定員に滿たないがそれぞれ入學を許可し其氏名左の通りである

全日制

◉普通課程(男子)

箱崎文郎、荒川光雄、小野久太郎、波立忠美、門馬宏長山信枝、田島有美、宍戸孝章、小原德太郎、青山正雄、井田勝己、小野哲、青木順得、波立長、永沼進、小泉清光、鷲日出男、根本良夫、林道彦根本君夫、小室修右、鈴木照夫、門馬武一、鈴木正臣、丹野昭十、鯨岡三郎、中村光利村上秀夫、小松太郎、鈴木榮渡邊繁春、檜山英光、森孜佐藤秀可、永山清秀、安島孝次、櫛田三男、下遠野勉、瀧内修、佐瀬庄八、大嶺實、根本孝道、有田王一、高崎一衞坂本正弘、作山稔幸、下遠野弘

◉普通課程(女子)

鈴木光代、箱崎操、遠藤光子草野ヨシコ、國井サツキ、鈴木米世、柳内キヨコ、金成ミツコ、小野トミコ、作山喜代子、酒井ヨシヱ、江幡清子、市川蓉子、志賀みつ子、上遠野キクヱ、鈴木幸子、中野勝子、木皿政子、勝部政子、坂本公子、佐藤春美、沼田わき野崎重子、柳葉八重子、作山洋子、田澤甲子、曾我照子、村上昌子、青木曉子、鴨下宏子、高萩トシコ、小湊清子、竹石藤子、鈴木セツ子、柳内良子、永木和子、馬上タカコ宮内登志子、松本梅子、遠藤千代子、清水德子、中村美智子、大淵和子、濱田操、小松森江、猪股禮子、中野アイコ鈴木ヨシコ、布施まさ子、仲野盈枝、渡邊聰子、松浦佐和子、佐藤貞子、白石陽子、熊田壽枝、堀越明子、仁平千枝子、小林喜久江、澄川雅子、佐藤すみ子、鷹砧子、丹野知子、草野絢子、鈴木英子、米澤幸枝、内海勝子、三瓶滿子、吉田タカ、上遠野久子、上遠野和子、吉田シヱ子、林郷子、松崎イミコ、永井俊子住谷明子、鈴木トキ子、吉田ヒサ、坂本喜久江、關房子、安達幸子、鈴木洋子、鈴木トモコ、布施昌子、金成シズカ吉田イチコ、鈴木百合子、小久京子、鈴木慶子、坂本喜久子、鈴木千江子、大峰敏子、坂本久子、坂本フミ、吉原協子、關博子、坂本榮子、坂本武子、佐川米子、吉田志保子小野洋子

◉商業課程

安齋勇三、渡邊昭二、小泉清遠藤三郎、吉田求、伊藤英夫江尻武士、二瓶次夫、若松實鈴木正、作山民夫、大崎孝之小野光平、田口薫、馬上照夫吉田久男、上遠野正喜、上遠野文夫、佐藤正、上遠野里美吉田長夫、四家幸一、和田忠男、河野恭平、大井川隆、山崎研吾、瀧川雅之、竹俣一夫岡田功、菊地茂、川澄英久

◉被服課程

生田目幸子、村上ソヨ、長瀬眞子、中村政子、澁谷照子、小野光子、管野利子、初瀬シメコ、永井シゲ、田島トシエ馬上美子、吉田茂子、小野京子、清水澤子、神白悦子、上野臺幸子、松原ハマ、吉川美佐惠、菅原紀美子、運賀光江高橋綾子、齋藤貞子、小野千鶴子、齋藤美雅子、小野美惠子、山口富美子、若松許子、古瀬友子、酒井佳子、山崎ユリコ、後田幸子、中西琴、小野和子、齋藤ヒサエ、谷平良子、佐川光子、小野アヤコ、柴田幸子、岸島多美江、作山レイコ

◉定時制普通課程

根本正、市川英雄、八代マチコ、田中勝三、加藤幸雄、若松榮、柳内藤一、西山昭一、渡邊進、松崎三郎、菅野進一櫛田義一、小松昭一、白井是博、小野正夫、小野嗣、小野一、志賀勝、小林一、大塚實戸田勝男、門井勇、松本六郎伊藤貞夫、清野武男、吉田正義、佐川涼子、笠野英夫、瀬谷昭好、田中常子、古川猛、遠藤吉一郎、水野健司、小林治、武藤義光、猪浦清俊、木田昌彦、齋藤誠

◉別科

小松久良子、松崎良子、齋藤トキヨ、大和田ハツエ、仲野定子、新妻久子、鈴木示子、永井ユキコ、大和田アヤコ齋藤勝江、齋藤陽子、大和田道子、鈴木チヨノ、高萩イネ齋藤宮子、佐藤幸子、草野ヤイコ、小泉ミツエ、高萩トヨコ、渡邊啓子、永井ウメコ、石川綾子、高萩ユキヱ 以上

やさしい
美くしい
役に立つ
洋 裁
城山
十字洋裁學院

生徒募集
常に最新式の教授法!!!
傳統を誇る洋裁!!!
願書受付 二月十日—四月五日迄
▲本 科 一五〇名 ▲研究科 五〇名
平市立 公認
千草洋裁學院
平市三崎町四〇（電八九一）

生徒募集
本 科……………150名
研究科……………50名
速成科(夜間)……50名
願書受付中・內容規則書進呈
公認 平高等洋裁學院
平市紺屋町21 電175番

生徒募集
本 科…………50名
研究科…………若干名
願書受付中・內容規則書進呈
◀學生定期割引の便あり▶
公認 三浦洋裁學院
平市仲町1 電907番

新學期生徒募集
公認
東北高等洋裁學院
▲本 科 ▲師範科
▲速成科 ▲ミシン刺繡科
最も簡單で能率的な職業教育の學園
（規則書進呈） 寄宿の便あり
平市二丁目

飲食とお酒の店
女給さん急募!!
（十八才より廿四、五才迄給料は面談の上）
平市本局前 電五二八
小柳